

平成30年度事業報告書

学校法人名 学校法人 加寿美学園

学校法人所在地 熊本市中央区内坪井町4番8号

平成30年度事業報告書

1. 法人の概要

法人名	加寿美学園		理事長名	和田 秀雄			
所在地	熊本市中央区内坪井町4番8号		電話番号	096-354-2333			
設立年月日	昭和19年2月5日		資産の総額	1,750,023千円(平成30年度3月末現在)			
目的	<p>教育基本法及び学校教育法(昭和22年法律第26号)により次に掲げる学校を設立する。</p> <p>(1) 熊本中央高等学校 高校 全日制課程 普通科・総合ビジネス科・看護科 専攻科 全日制課程 看護専攻科</p> <p>(2) 坪井幼稚園</p>						
設置する学校名	課程	科別	学則定員	5月1日生徒(園児)数		5月1日常勤者数	
				定員	実員	教員数	職員数
熊本中央高等学校	全日制	普通科	480	480	398	59	15
		総合ビジネス科	240	240	110		
		看護科	240	240	268		
		看護専攻科	160	160	162	7	1
坪井幼稚園			80	80	83	6	1
計			1,200	1,200	1,021	72	17
役員等に関する事項		勤務形態	選出根拠	就任年月日	氏名	担当職務・現職	
理事	任期4年 定数7名 現数7名	常勤	寄付行為第7条1項3	H28.05.27	和田 秀雄	理事長 元熊本県農政部長	
		常勤	寄付行為第7条1項1	H28.05.27	池田 廣	熊本中央高等学校校長	
		非常勤	寄付行為第7条1項2	H28.05.27	石井 昭男	(株)石井盛和堂社長	
		非常勤	寄付行為第7条1項3	H28.05.27	竹下 英	(株)熊本銀行頭取	
		非常勤	寄付行為第7条1項2	H30.05.27	浅山 弘康	(株)熊本放送 顧問	
		非常勤	寄付行為第7条1項2	H30.05.27	伊瀬知美里	同窓会会長	
		常勤	寄付行為第7条1項2	H28.05.27	松永 弘史	学園常務理事	
監事	任期4年 定数2名 現数2名	非常勤	寄付行為第8条	H28.05.27	田中 正友	天草自動車学園会長	
		非常勤	寄付行為第8条	H28.05.27	金田 茂	横浜幸銀信用組合顧問	
評議員	任期4年 定数17名 現数17名	常勤	寄付行為第24条1項4	H28.05.27	池田 廣	熊本中央高等学校校長	
		常勤	寄付行為第24条1項4	H28.05.27	松永 弘史	学園常務理事	
		常勤	寄付行為第24条1項1	H29.05.27	古澤 哲二	熊本中央高等学校教頭	
		常勤	寄付行為第24条1項1	H29.05.27	柴田 徹	熊本中央高等学校事務長	
		常勤	寄付行為第24条1項1	H28.05.27	松永 行弘	教諭	
		常勤	寄付行為第24条1項1	H28.05.27	中富 尚士	教諭・教務部長	
		常勤	寄付行為第24条1項1	H28.05.27	竹原 一輝	教諭・司書教諭	
		常勤	寄付行為第24条1項1	H28.05.27	小椋 衣津	坪井幼稚園園長	
		非常勤	寄付行為第24条1項2	H30.05.27	伊瀬知美里	同窓会会長・学園理事	
		非常勤	寄付行為第24条1項2	H28.05.27	安田 晴子	同窓会副会長	
		非常勤	寄付行為第24条1項2	H30.05.27	岩井 香織	同窓会副会長	
		非常勤	寄付行為第24条1項3	H30.05.27	尾本 美希	後援会会長	
		非常勤	寄付行為第24条1項3	H29.05.27	北村 令子	後援会副会長	
		非常勤	寄付行為第24条1項3	H30.05.27	宮本 美穂	後援会副会長	
		非常勤	寄付行為第24条1項4	H28.05.27	石井 昭男	学園理事	
		非常勤	寄付行為第24条1項4	H28.05.27	竹下 英	学園理事	
		非常勤	寄付行為第24条1項4	H30.05.27	浅山 弘康	学園理事	

2. 事業の概要

①事業の概要

1. 教育事業

・熊本中央高等学校

○普通科

基礎学力の向上はもとより、多様な価値観のあり方を尊重し、座学だけではない体験的かつ総合的な学習、および地域性と歴史性を重んじた実践的な学習を通して生徒の個性を育て、良き市民としての高い知性と豊かな情操を養うことを目的とした。

具体的な普通科全体としての方針は以下のとおり。

- ① 授業を主力として基礎学力の向上を図った。
 - ・進路指導を徹底し、早期に学習の目標を持たせた。
- ② 課外・補習は生徒のニーズに応える観点から希望者を対象に行なった。
 - ・学期中の課外は朝または夕の各1時間とし、休暇中の課外、補習は午前中に行なった。
- ③ 校外模試や各種検定に挑戦させた。
 - ・進路指導の観点から段階を迫って難易度の高いものに挑戦させ、基礎力を養うとともに生徒の学力の客観的評価を図った。
- ④ 学習する雰囲気をつくるように努めた。
 - ・保護者会との連絡を密にし、家庭学習を奨励した。

※普通科には次のコースがある。福祉リビングコースと総合探究コースは、生徒たちの適性と希望にもとづいて2年次から各コースに分割した。

☆特進コース

「日本一の個別指導」をモットーに、意欲のある生徒たちを徹底的に鍛え、国公立大学や難関私立大学の合格を目指した。

☆芸術創造コース

「好き」であることをもっとも大切に、さまざまな個性を持った生徒たちの芸術性を高め、生涯学習を念頭に置いた個々に応じた指導を行った。

☆福祉リビングコース

「福祉」と「食育」、さらには「保育」という3本柱で、ほんものの「福祉」マインドを育てた。介護に関する資格や、実習など豊かで幅広い学習を行った。

☆総合探究コース

「学び」を人との競争ではなく、自らの「可能性」を伸ばすものと捉え、「フィールドワーク」「キャリアチャレンジ」「資格取得」の3つを柱に、生徒たちの頑張る力と人間力を育てた。

○総合ビジネス科

商業科目をベースに、一生を「学び」としてとらえる生涯学習の基礎を学ぶ県内初の学科で、生徒一人ひとりの個性を伸ばすきめ細かな指導（少人数指導）を展開し、生徒の自主的な学習態度を養った。能力・適性の伸長を図り自己実現をめざし、幅広い資格が取れる、幅広い進路選択ができる学科として学習してきた。

- ① 生徒一人ひとりの個性を伸ばすきめ細やかな指導（少人数指導）を展開し、生徒の自主的な学習態度を養い、一人ひとりの能力・適性を高めながら、自己実現を目指した。
- ② マナー教育・進路指導・就業体験（インターンシップ）・課題研究・実習・体験学習にも力を入れ、主体的な職業選択の能力や職業意識の育成を図ってきた。また、地域と連携をとりながらボランティア活動や地域行事などにも積極的に参加させ幅広い人材の育成に努めた。
- ③ 1年次には、マナー教育・進路指導を目的として、ビジネスの基礎・基本となる心構えや理

念を学び、ビジネスへの理解を深めながらコミュニケーション能力を身に付ける学習を行った。

- ④ 2年次には、就業体験（インターンシップ）を実施。生徒の進路を視野に入れた体験的な学習に取り組んだ。
- ⑤ 3年次には「中央商店」開設、ビジネス実践（ライフプラン）の授業では、様々なガイダンスを受けながら、自分の適性を知ると同時に多岐にわたった進路選択と進路決定をさせた。
- ⑥ 全商の各種検定状況
全商検定5種目1級合格1名、3種目1級合格3名、他種目では延べ20名の1級合格者を出した。
- ⑦ 卒業生進路
大学6名、短大1名、専門学校12名、事務系1名、販売6名、サービス9名、製造4名、福祉施設4名。
- ⑧ 実施検定

	検 定 種 目	
6月	全商珠算・電卓検定	全商簿記検定
7月	全商ビジネス文書実務検定	全経電卓計算能力検定
9月	全商情報処理検定	
11月	全商珠算・電卓検定	全商ビジネス文書実務検定
12月	全商英語検定	
1月	全商情報処理検定	全商簿記検定 全経社会人常識マナー検定
2月	全商商業経済検定	全経電卓計算能力検定

○看護学科

5年一貫教育として高等学校看護科・看護専攻科と学習の積み重ねの教育を心掛け、教員間の情報共有、施設活用の協力、臨地実習指導強化を行った。

[看護科]

高等学校教育課程として、基礎学力と教養を身に付けるとともに、看護の基礎知識、基本的看護技術、専門職業人を目指す自覚、態度を培うための指導を継続した。

(取り組みと成果)

- ① 朝学習・夕学習を実施し基礎学力の向上を図った。
- ② 専門職業人としての自覚や態度を養うために外来講師の招聘
- ③ 手帳を用いた学習計画および提出物の徹底
ほぼ全員が看護専攻科に進級した。

[看護専攻科]

高等学校教育課程を基盤として専門科目の理解を積み重ねた教育および臨地実習の充実、国家試験対策の強化を実施した。

(取り組みと成果)

- ① 看護科から継続した手帳管理の推進と学習の向上を図った。
- ② 臨地実習施設の確保（特に母性看護学実習、成人・老年看護学実習及び在宅看護論実習施設の開拓）
- ③ 臨地実習指導教員の数的・質的充実（教員間の情報共有、連絡・報告の徹底）
- ④ 学生のメンタル面への支援および生活指導
- ⑤ 国家試験対策強化（外部の国家試験に特化した講師による講義）
- ⑥ 就職への支援（奨学生制度の紹介、就職試験に向けての指導等）

108回看護師国家試験結果は受験者67名中53名合格（合格率79.1%）。就職状況は西日本病院、くまもと森都病院、くまもと成城病院など全員が進路決定した。

・坪井幼稚園

本園は“遊び”を通して「こころ」と「からだ」を育むことを教育理念としている。この教育理念に基づき室内活動や園外活動を行う中で、季節を五感で感じながら感性・創造性を持ち素直に表現する心の育ちが見られた。園の特色である年中組の春夏秋冬のお泊まり会を実施し、実体験を通し自然との出会い、仲間関係や生活習慣の見直しや集団行動の決まり等の大切さなど学びねらいが達成できた。幼児期は個々の発達の違いが顕著に表れるため、個別の教育的ニーズのある幼児に対しては、同じ空間で学び合い、園・保護者・各関係機関と連絡会を行い信頼関係を構築させる等インクルーシブ教育に取り組み、指導や支援を行い、一人ひとりの個性を大切に育てた。

県内の事業団よりイベントの参加依頼があり、年長児を中心に歌や踊りなど保育活動の発表をする機会ができたことで、地域との交流や子どもたちの自信にも繋ぐことができた。今年度も引き続き避難訓練や防犯訓練に力を入れ指導を行った。

1) 指導計画として以下の5領域のねらいを踏まえながら「幼児期の終わりまで育ってほしい10の姿の育ち」の実践を行った。

- ①健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う。
- ②他の人々と親しみ、支えあって生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。
- ③園内の様々な環境に好奇心や探求心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。
- ④経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。
- ⑤感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

2) 子育て支援事業として「預かり保育」と「未就園児の親子登園」をおこなった。

- ①預かり保育では、預かり時間の延長による保護者の精神的負担の軽減や子どもに対し縦割り形態での遊びの提供・家庭的な環境設定による子どもたちの心身の安定などを心掛けた。
- ②未就園児の親子登園では、遊び場の提供や保護者の悩みへの支援など、地域の幼児教育センターとしての役割を担う事が出来た。

2. 補助活動事業

①寄宿舎 第1寮(女子) 29名 第2寮(男子) 20名 合計49名【平成30年5月1日現在】

②幼稚園預かり保育

常時預かり 年少組16名 年中組6名 年長組21名 合計43名【平成30年5月1日現在】

3. 収益事業

なし

4. その他の事業

なし

②事業計画及び実績

I. 教育事業に係る主な設備投資実績

- ① 図書館棟1階の多目的室への改修工事業（前年度からの継続事業）
- ② 学内ネットワーク整備事業
- ③ 専攻科棟東側中庭周辺の整備事業
- ④ 生徒用駐輪場整備事業
- ⑤ 新築に伴う屋外追加工事業
- ⑥ O A教室用パソコン40台（サーバー・配線工事含む）買替事業
※文科省私立高等学校等IT教育設備整備費補助金（1/2）利用
- ⑦ 理科教育設備購入事業
※文科省理科教育設備整備費補助金（1/2）利用
- ⑧ 看護実習室医療用ベッド等整備事業

II. 予算・実績計数（資金収支）

（単位：千円）

科目	計画・予算	実績・決算	増減	進捗状況等
資金収入				
生徒納付金	506,000	510,007	▲4,007	高校幼稚園共に人員増加が寄与
手数料	5,870	6,670	▲800	受験者数増
寄付金	3,700	3,533	167	
補助金	431,856	431,870	▲14	前年比微増
資産売却	80	80	0	芝刈機
補助活動	625	625	0	幼稚園補助事業
利息配当	17	18	▲1	
雑収入	30,101	30,183	▲83	
借入金等	200,000	200,000	0	経常運転資金内（残高ゼロ）
前受金	12,804	13,260	▲456	入学金等
その他	44,418	45,371	▲953	前期末未収入金
調整勘定	▲70,284	▲70,325	41	期末未収入金・前期末前受金
前年度繰越支払資金	215,107	215,107	0	
収入合計	1,380,294	1,386,401	▲6,107	
資金支出				
人件費	586,554	593,047	▲6,493	教職員増加10名退職金増加
経費	210,140	212,633	▲2,493	
借入金利息	12,970	12,970	0	
借入金返済	278,300	278,300	0	運転資金含む
施設設備関係	46,160	45,713	447	
建物	11,810	11,778	32	設備投資事業①②
構築物支出	13,570	13,592	▲22	設備投資事業③④⑤
機器備品	20,690	20,253	437	設備投資事業⑥⑦
図書	90	90	0	
その他	115,606	114,723	883	
調整勘定	▲17,795	▲17,852	57	
翌年度繰越支払資金	148,359	146,866	1,493	
支出合計	1,380,294	1,386,401	▲6,107	

